

EXTEND2010の今後のスケジュールについて(案)

1. 背景

環境省において、化学物質の内分泌かく乱作用に関する取組として実施しているEXTEND2010は、策定当初より「平成22年度から5年間程度の期間を念頭に置いて、化学物質の内分泌かく乱作用に関する環境省としての対応の方向性をまとめたものであり、今後の調査研究の進展により、適宜必要な見直しを行う」と位置付けられており、この5年間における検討の進捗、成果等について整理した上で、その後の展開方策について検討を行う必要が生じている。

平成26年度第1回化学物質の内分泌かく乱作用に関する検討会において、以下のようない項について、各部会等の意見を踏まえつつ検討を行うこととされた。

- ・これまでの調査研究、作用・影響評価等の進捗状況や成果の整理
- ・化学物質の内分泌かく乱作用に係る国際的な検討の動向に関する情報収集
- ・今後の進め方に関する方針の検討

これまで、EXTEND2010の中で実施している7つの柱（①野生生物の生物学的知見研究及び基盤的研究の推進、②試験法の開発及び評価の枠組みの確立、③環境中濃度の実態把握及びばく露の評価、④作用・影響評価の実施、⑤リスク評価及びリスク管理、⑥情報提供等の推進、⑦国際協力の推進）について、上記の項目に基づいて検討を行ってきたところであるが、その中で、我が国における化学物質の内分泌かく乱作用に関する新たな枠組みの策定については、諸外国の取組を踏まえつつ慎重に対応することが重要との御意見を頂戴している。このような御意見を踏まえ、今後の見直しのスケジュールを変更することとする。

2. 今後のスケジュールについて

化学物質の内分泌かく乱作用に関する新たな枠組みについては、取りまとめ時期を当初予定していた平成27年度前半から、平成28年度前半を目処とすることへ変更し、本検討会において引き続き議論していく。